

(様式第 4 号)

上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審 議 会 名	上田市男女共同参画推進委員会
2 日 時	平成 30 年 2 月 27 日 午前 10 時 00 分から午前 12 時 00 分まで
3 会 場	市民プラザ・ゆう 大会議室
4 出 席 者	古田睦美会長、竹田貴一副会長、新井敦子委員、岩野威生委員、廉澤輝樹委員、齋藤加代美委員、竹花みよ子、宮崎郁男委員
5 市側出席者	柳沢人権男女共同参画課長、堀内真田市民サービス課長、佐藤武石市民サービス係長、久保田男女共同参画係長
6 公開・非公開	☒ 公 開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍 聴 者	0 人 記者 0 人
8 会議概要作成年月日	平成 30 年 2 月 28 日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 諮問事項について ・ 柳沢課長から説明
3 会長あいさつ (会長) 上田市の男女共同参画推進事業者表彰は、県内では優れた制度として知られている。他の事業者の参考になる取組を表彰していきたいので、よろしく審議をお願いします。
4 会議事項 (1) 平成 29 年度上田市男女共同参画事業者表彰について ア オルガン針株式会社 ・ 資料に沿い久保田係長から説明 以降、協議 (委員) 企業戦略として位置付けて取り組んでいるところが良い。 (委員) 育児休業・子育て支援制度も良いが、それが実際に機能しているかどうかを常に見直しながら実施しているところは素晴らしい。 (委員) 会社の将来の在り方も見据えて取り組んでいることが良くわかる。 (委員) 当初は、人事課の視点で制度を作ったが、利用率が悪く、社員のニーズを聞きながら現実的な内容に見直したと聞いている。制度を作るだけでなく、社員の利用率が高いかどうかも重要。 (会長) 表彰することについて適当であると認めることとしたい。 (1) イ 長野医療衛生専門学校 ・ 資料に沿い久保田係長から説明 以降、協議 (委員) 子どもを職場に連れて来る雰囲気づくり、子育てをしている職員を応援する雰囲気の醸成の取組が良い。学生にとっても、子育てをしている先生の姿を見ることによって仕事と子育てを両立するためのよいロールモデルとなる。 (委員) 有給休暇を 30 分単位で取得できることは、家庭生活と両立するために非常に助けになると思う。 (委員) 学生は女性比率が高いということだが、専門の技術を身に付けて職に就くことは、女性の自立にもつながる。女性を学科長に就けて女性の視点を反映させることは、職場だけでなく、学校の教育にも

いい影響を与えていくものと思う。

(委員) 業務日報は、校長と全職員とのやり取りを行うものとなっており、内容は業務だけでなくプライベートの相談も記載しており、それを業務運営にフィードバックできるようになっている。

(委員) 36 協定を結び、就業規則の見直しも行った。

(委員) 就業規則については、聞き取り調査の中で聞いた方が良かった点がいくつかある。社労士のアドバイスを受け、労基署にも提出されるものであるので、問題はないと思われるが、念のため事務局は確認して後で会長に報告してほしい。

① 第16条における36協定の際の協議の相手は労働組合か職員の代表者かという点

② 第5条で管理職の勤務時間等は適用除外となっているにもかかわらず第24条(5)の時間外・休日の割増賃金においては管理職手当も対象となっている。管理職は時間管理されているのかどうかという点

③ 第24条(5)において振替休日については明記されているが、代休に係る項目がない点

(会長) 表彰することについて適当であると認めることとしたい。

(2) その他

以下の項目について事務局から説明

- ・内閣府、県、市における人権に関する調査の結果について
- ・男女共同参画推進事業者表彰事例集の作成について